

小田川っ子



平成28年度
白河市立小田川小学校
平成29年1月27日(金)
第38号(131号)
発行者 校長 小檜山 健

思いやりなどについて考える「人権教室」「たのしい学校」

わたしたちが今、生きている日本には、物の豊かさを追い求めるばかりか、心の豊かさが大切にされないところがあります。また、他人への思いやりの心が十分でなく、自分の権利ばかりを主張するところも見受けられ、そのことが差別的言動や児童虐待などといった人権問題を引き起こしています。さらには、子どもたちの生きる世界においては、原発事故等により避難を余儀なくされている福島県の児童生徒に対するいじめ問題なども発生しており、「人権」を考えていくことが、以前にも増して必要となっています。



そこで、本校では、白河市人権擁護委員協議会の方々に依頼して出前授業「人権教室」を行いました。下学年では「大きな声でいえるかな?」「白い魚とカメの子」などの紙芝居、上学年では「プレゼント」といういじめを題材としたDVD資料をもとにしながら、一人一人には大切な人権があること、他人の人権にも配慮した言動をとることなどを、友達と共に考えました。そして、相手の気持ちを考えることや思いやることの大切さを学ぶことができました。

いじめられている人を見たら助けようと思いました。見ていなくてもいじめなんだと思いました。いじめられている時、いじめで返すといじめは消えないことと、いじめてしまった時にはあやまるのが一番だと思いました。また、相手の気持ちを考えたり思いやったりすることが大切だと思いました。これからは、いじめられている人を見たら助けてあげようと思いました。

(5年 さん)

白い魚が、他の魚たちにいじめられていて、かわいそうだなと思いました。仲間外れにされていて、かわいそうだなと思いました。わたしは、「人権」のことが最初は知らなかったけど、「人権」の話をしてもらってよく分かりました。「ありのままに生きること」や「人間は人間らしく生きていい」ということが分かりました。

(3年 さん)

～保護者や地域の皆様、雪かき、ありがとうございます m(_)m～

1月になり、大寒波による降雪がありました。白河市でも30センチほどの積雪がありました。通学路の除雪に対する地域の方々の意識は高く、月曜日の朝には、各地域の通学路はすっかりきれいに除雪されていました。特に、芳賀須内までの歩道は、片桐運輸の方が除雪してくださいました。また、学校前の歩道や児童クラブへの歩道も、学校前にお住まいの鈴木様が掃いてくれました。心より感謝申し上げます。まだ降雪が予想されますので、除雪についてご協力をお願いいたします。



